科目名 Subject	美しい思いやり Thoughtful Consideration			教員名	河﨑　峰子	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	○	○		○	◎	

科目の概要	ビジネスマナーとホスピタリティの基礎を学び、教育目標にある「日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力」を身につけることができます。 具体的には、日本人・外国人共に対応できる人材になるために知識を得るだけに留まらず、学んだことを行動に移せる実践力を培っていきます。日常生活の中からホスピタリティ溢れる事例を探し、「気づき」ができるように習慣づけ、またマナーを通したコミュニケーション力の大切さを認識することで、主体的に行動できる人になります。そして人やもの、全てに思いやりを持ち、他者のニーズをキャッチすることで、多様な価値観や考え方を理解し、相手を受容し、協働できる人になります。
授業方法	オンライン授業（同時双方）と対面授業のハイブリッド型。ロールプレイイングなど実践を要する場合等学習効果を考え、対面授業を実施する回は事前に通達します。
授業の目標	授業を通して、己を知り、他者を理解することで、多様な価値観や考え方を受容でき、相手やものに対する思いやりを育むことができます。また日本文化で大切にする心配り・気配りができる大人になるための礎を修得します。具体的には、ビジネスマナーの基礎を学び、コミュニケーション力をあげるために重要となる信頼関係構築の5つのポイント（挨拶・身だしなみ・表情・言葉遣い・態度）の知識・技能を身につけ、実践できるようになります。
時間外学習 （予習・復習）	知識の習得状況を確認するため、授業冒頭で前回の授業の振り返りを行います。各授業のポイントを毎回自宅で復習して下さい。予習は次回学習する範囲を告知しますので、事前に教科書・プリントを読み込んでください。また課題レポートの提出を求める際は、自宅にて作成し、メール等で送付します。その際メール送付・資料添付の仕方を修得し、実践します。各回の予習復習は概ね60分～90分を見込みます。
教科書・教材	教科書：マナー＆プロトコール基礎知識（日本マナー・プロトコール協会）・配布プリント
	教材：必要に応じて提示します。
	使用設備・備品：PC、カメラ（オンライン授業）、ライト（オンライン授業）
	参考文献：必要に応じて提示します。
評価方法	授業参加意欲20%、レポート30%、筆記試験50%の比率で評価します。 授業内容の性質上、特に授業態度は重視します。
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。
学生へのフィードバックの方法	ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。
	必要の際には、個別にコメントを返します。
履修上の注意	私語、居眠り、飲食、私的な携帯電話の使用、授業の妨げ、マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。質問や意見をどんどん出して授業に積極的に参加することを望みます。
本科目履修と関連する資格	資格名：マナー・プロトコール検定3級（任意）

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション　マナー、ホスピタリティ（思いやり）、プロトコールとは何かを学ぶ。(対面授業)	授業の進め方、授業の全体像を理解し、15回の授業の展開を予測できるようになる。	マナー、ホスピタリティ（思いやり）、プロトコールの違いをノートに纏める。（30分）予習として教科書を読む。（30分）
第２回	マナーの歴史と意味を学ぶ。（オンライン授業）	日本・西洋の礼儀・作法の成り立ちやアジアのマナーの特徴を理解し、比較することができる。	授業のポイントをノートに纏め復習し、予習として席次・国旗の単元を読んでおく。（60分）
第３回	国際人を意識したプロトコールを学ぶ。席次・国旗の扱いの知識を得る。（オンライン授業）	プロトコールの原則を理解し、席次・国旗の扱い方を述べることができる。	授業で使用する教科書の単元を事前に読み、大まかな流れを掴む。授業のポイントを纏める。（60分）
第４回	国際人を意識したプロトコールを学ぶ。国際的なコミュニケーションとは、を知る。（オンライン授業）	パーティの種類・礼装・異文化コミュニケーションの注意点を述べることができる。	教科書の「挨拶・身だしなみ」を読み予習し、注意すべきマナーをノートに纏め復習する。（60分）
第５回	信頼関係の基本5原則（挨拶・身だしなみ）を学ぶ。(対面授業)	挨拶の仕方・身だしなみとおしゃれの違いを理解し、TPOに合った所作ができる。	教科書の「クッション言葉」を読み予習し、授業のポイントをノートに纏め復習する。（60分）
第６回	信頼関係の基本5原則（言葉遣いのクッション言葉）を学ぶ。（オンライン授業）	クッション言葉を学び、表現のバリエーションを増やすことができる。	教科書の「敬語」を読み込み予習し、授業のポイントをノートに纏め復習する。（60分）
第７回	信頼関係の基本5原則（言葉遣いの敬語）を学ぶ。（オンライン授業）	敬語を理解し、日常生活で敬語を使用した丁寧な会話ができる。	尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いを何度も復習し、動詞の変化を確認する。教科書の「社内文書・社外文書」を読む。（60分）
第８回	信頼関係の基本5原則（言葉遣い・ビジネス文章）を学ぶ。（オンライン授業）	ビジネス文章を理解し、社外・社内文書・手紙を作成することができる。	教科書の「社内文書・社外文書」復習し、「メール」の単元を予習する。（60分）
第９回	信頼関係の基本5原則（言葉遣い・メール）を学ぶ。（オンライン授業）	言葉遣いを意識したメールを出すことができる。	課題として、ビジネス文章を作成し、メールを出す。（60分以上）
第１０回	贈答について学ぶ。（オンライン授業）	贈答のマナー・季節の贈答についての知識を得て、正しく贈答の品を贈ることができる。	教科書の「名刺の扱い方・紹介のマナー」を読み予習し、授業のポイントをノートに纏め復習する。（60分）
第１１回	信頼関係の5原則（態度・表情）を学ぶ。(対面授業)	名刺の扱い方、紹介のマナーを理解し、実践できる。	教科書の「訪問来客の応対」を読み予習し、授業のポイントをノートに纏め復習する。（60分）
第１２回	信頼感の伝わるビジネス動作で会社内での対応を学ぶ。(対面授業)	お茶の出し方、訪問来客の応対のマナーを理解し、実践できるようになる。	授業のポイントをノートに纏め復習し、教科書の食事のマナーの単元を読む。（60分）
第１３回	食事のマナーについて学ぶ。（対面授業）	和食・洋食等のマナーを知ることで、正しく食事をいただくことができる。	授業のポイントをノートに纏め復習し、「冠婚葬祭」の単元を読む。（60分）
第１４回	「冠婚葬祭」のマナーを学ぶ。（オンライン授業）	冠婚葬祭のマナーの知識を得ることで、実際の場面で正しい立ち居振る舞いができる。	「冠婚葬祭」の単元を理解するために、ポイントをノートに纏める。（60分）
第１５回	まとめ(対面授業) (15回の振り返り)	大人としてマナーを習得する必要性を理解し、ホスピタリティを意識したビジネスマナーを実践することができる。	15回の授業の復習を行う。（60分以上）